



# あがたの森通り再整備計画

(案)

## 目次

1 はじめに.....	1
2 あがたの森通りの現状と課題 .....	2
3 あがたの森通りの再整備の方針と目指す姿 .....	4
4 あがたの森通りの再整備の取組 .....	8
5 計画の検討経過 .....	12
6 計画の進め方 .....	12

# 1 はじめに

## (1) 計画の背景と目的

あがたの森通りは、昭和7年(1932年)に幅員22mの都市計画街路として認可され、約90年の歳月を経て令和7年度(2025年度)に全線整備が完了しました。長い年月をかけて「道路を整備する」段階を終え、これからは整備された道路空間を「いかに使いこなすか」という視点で、通りの質を高めていく新たな段階を迎えています。

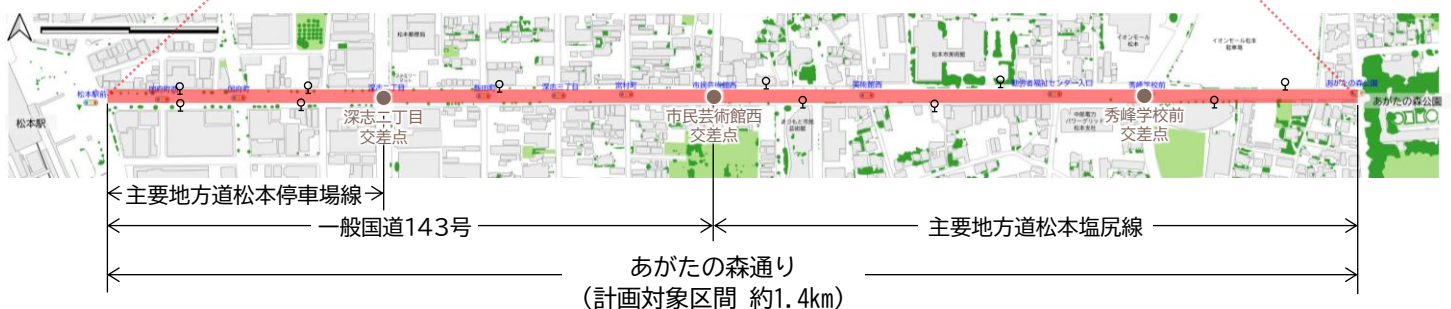
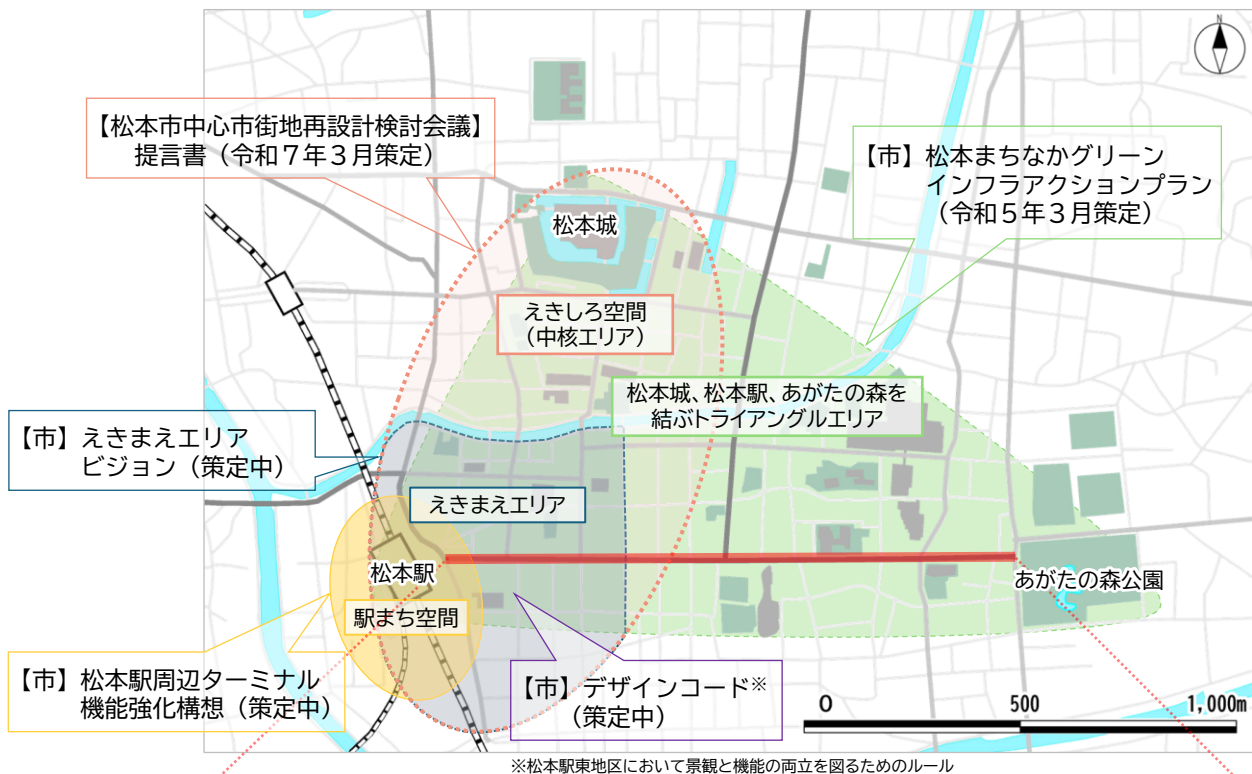
『あがたの森通り再整備計画』は、松本市を代表するこの目抜き通りを「いまよりもっと歩きやすく・居心地のよい通り」へと再生する計画です。長野県が計画主体となり、松本市と連携し、沿道事業者・地域住民らと将来像を共有しながら、協働でその実現を目指します。

本計画では、この通りの位置づけや魅力・課題をふまえ、①より安全で快適な道づくり、②居心地のよい道端づくり、③水と緑を感じる道づくり、④芸術・文化が薫る道づくりの4つの基本方針で再整備の内容を整理しました。

## (2) あがたの森通り及び計画の位置づけ

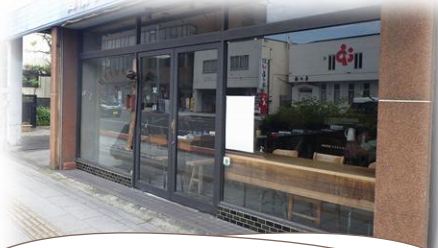
あがたの森通りは、松本駅前からあがたの森公園前までの延長約1.4kmの県管理道路です。この通りは、松本城・松本駅・あがたの森公園を結ぶトライアングルエリアの一边を担い、中心市街地における主要な回遊動線の骨格であり、東西を貫く人と車の幹線軸となっています。

本計画は、松本市が策定した『松本まちなかグリーンインフラアクションプラン』(令和5年3月)に示された「地域と進める緑と花のシンボルストリートデザイン」をふまえ、まちなか関連の各種計画やビジョンとの整合を図りながら進めていくものです。



# 2 あがたの森通りの現状と課題

(1) 沿道事業者・住民アンケートの結果※にみる現状に対する評価 ※11項目4段階評価の結果(回答数:273名)



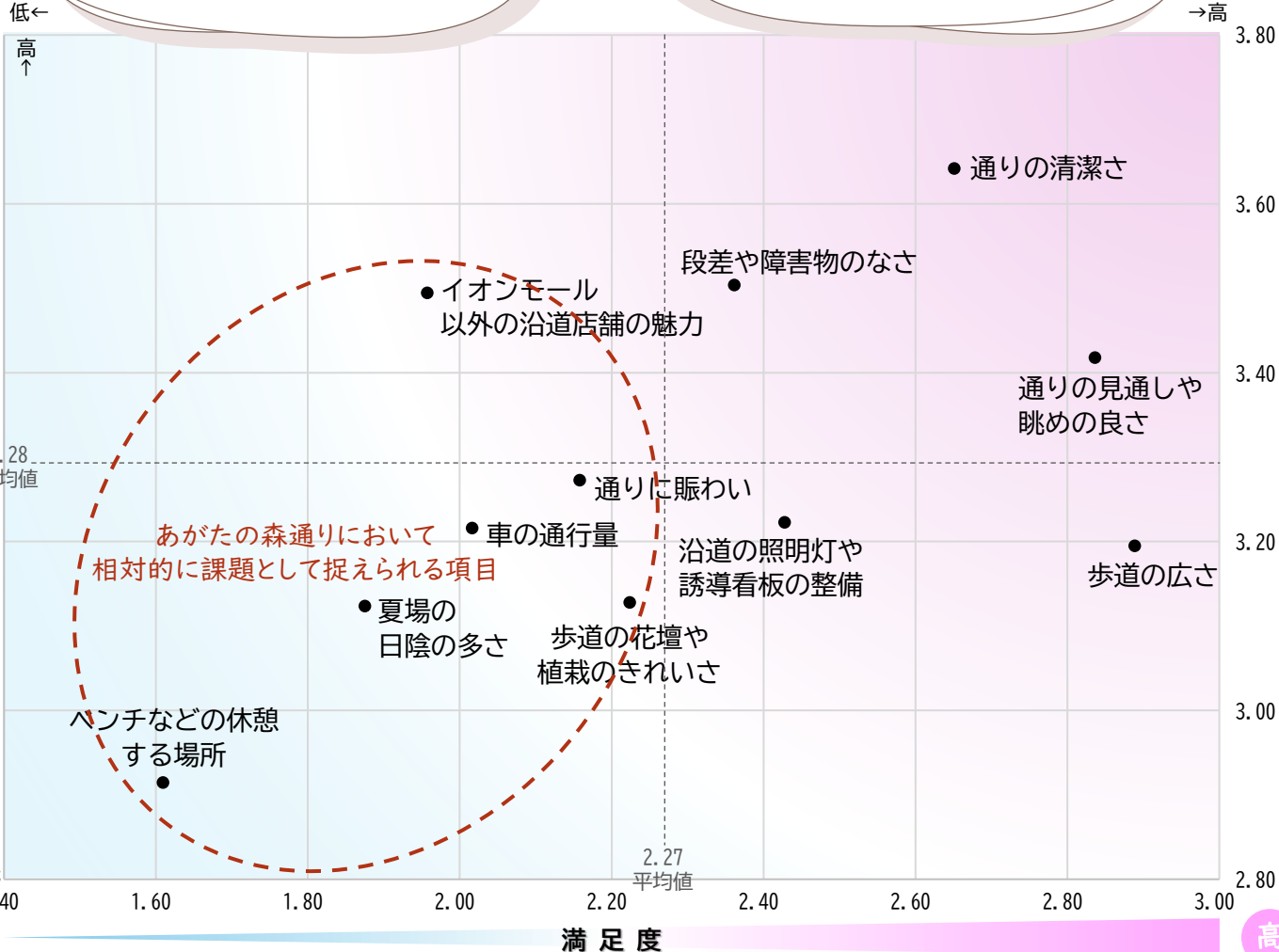
イオンモール松本の集客力は大きい。  
一方で、通り沿いには昔ながらの趣のある店とともに、新しいカフェや洋服店などもできてきて、立ち寄りたくなる魅力が増してきている!

あがたの森通りは、松本駅からまっすぐ伸びる目抜き通り!  
東には美ヶ原、西には北アルプスが眺められる沿道景観は大きな魅力!  
沿道の方々の協力により、いつもきれいで快適な通りに維持されている。

高

重要度

低



約1.4kmの通り沿いには、ベンチなどちょっと休憩できるスポットが少ない…  
特に夏は日陰がほしい!通りの南側はビルの影になるため日陰が増えるけれど、北側は日陰が少なく、日傘なしには歩けない!

歩道の広さには割とゆとりがあるし、オープンテラスやマルシェができると、通りの賑わいにもつながる!  
沿道植栽を花の彩りや木々の立体感で工夫して、あがたの森に向かう緑の連なりが形になるといい!

高

## (2) あがたの森通りの現状に対するさまざまな声 ～魅力と課題～

### ～ 道空間の安全性・快適性 ～



駅からあがたの森まで一直線!  
開けた景観が魅力で幅員も十分!!

石張り舗装の歩道は質が高く  
清掃も行き届いていて快適!!

歩道の路面の凹凸や傾斜があり  
所々、通行に支障あり

一部の区間に自転車通行帯がない、  
段差やグレーチングの溝が危険!

ゲリラ豪雨時に一部で冠水発生、  
特に南側の歩道の冬季の凍結も課題

美術館からあがたの森の間が  
夜間、暗くて少し不安。

特定の交差点での渋滞、  
駐車場の不足

南北の路地は狭くて緊急車両が入りにくい!

### ～ 居心地のよさ・賑わい ～

多世代の歩行者が行き交い活気がある

沿道のライブハウスや楽器店など、  
音楽が身近に感じられる

松本ぼんぼんの賑わいはこの通りならでは!

沿道の空き地はオープンスペースとして  
活用できる可能性あり!

ベンチや休憩スペースが不足、  
通り沿いには給水スポットが少ない

立ち止まりたくなる魅力ある施設や  
学生の居場所がもっとあったらいい



空き店舗や大型ビルの1階部分の  
低未利用がもったいない

サインや案内表示が不足、  
初めて訪れた人に分かりにくい

### ～ 水や緑のうるおい ～

清掃や樹木管理が行き届き、  
良好な環境が保たれている

沿道の緑や花による彩り、四季を通じた  
花飾りの取組も素敵!!

美術館前の植栽や文化施設の  
屋上庭園は良好な空間!

特に北側の歩道は緑陰や日陰が  
少なく、夏はとても暑い!

松本は花いっぱい運動発祥の地  
なのに、通りに花が不足していて  
特に冬季は景観が殺風景

植栽の劣化や維持管理の担い手  
不足、住民・事業者の負担大

沿道の緑のない駐車場の増加、  
街路樹などに集まる鳥のフン害



### ～ 芸術・文化の薫り ～

変化のある街なみが楽しい!  
趣のある建物に歴史を感じる

通り沿いの芸術・文化施設が  
通りの魅力をさらに高めている

まっすぐな通りの  
先への期待感・ワクワク感!

通りからの美ヶ原や北アルプスの眺望は素晴らしい!  
終点があがたの森であることも最高!

通りならではの特色や  
「あがたの森通り」の認知度が不十分

通りに統一感がないのが残念...街路樹や  
建物のデザイン、景観がバラバラな印象



大型ビルの1階部分がもっと活用されて、  
通りとつながったら良いのに、



### 3 あがたの森通りの再整備の方針と目指す姿

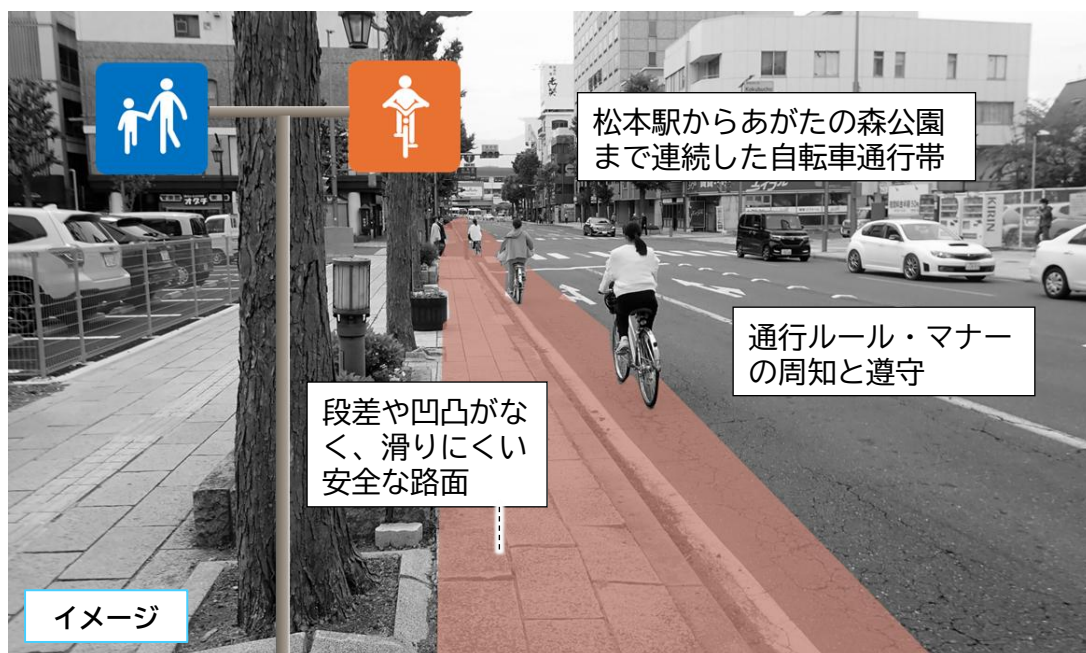
前ページで整理したあがたの森通りの魅力と課題をふまえ、再整備を進めるうえで重要な4つのテーマを設定しました。テーマごとに方針を定め、あがたの森通りで実現したいシーンを描いています。

- テーマ1** より安全で快適な道づくり ~道空間の安全性・快適性~  
誰もが安全・快適に通行できるように、自転車・歩行者の通行環境を向上させるとともに、豪雨時の冠水や冬季の凍結、夏の暑さに対応できる道路空間の整備に取り組みます。
- テーマ2** 居心地のよい道端づくり ~居心地のよさ・賑わい~  
「ただ通り過ぎる道」から「立ち寄りたくなる道端」へ。滞留空間と賑わいのある通りの創出を推進します。
- テーマ3** 水と緑を感じる道づくり ~水や緑のうらおい~  
地域と協働した緑化推進により「緑と花のシンボルストリート」を実現し、水を活かした親水空間の創出を図ります。
- テーマ4** 芸術・文化が薫る道づくり ~芸術・文化の薫り~  
あがたの森通りで松本らしさを感じ、芸術・文化を身近に楽しめるシンボルストリートの創出を目指します。



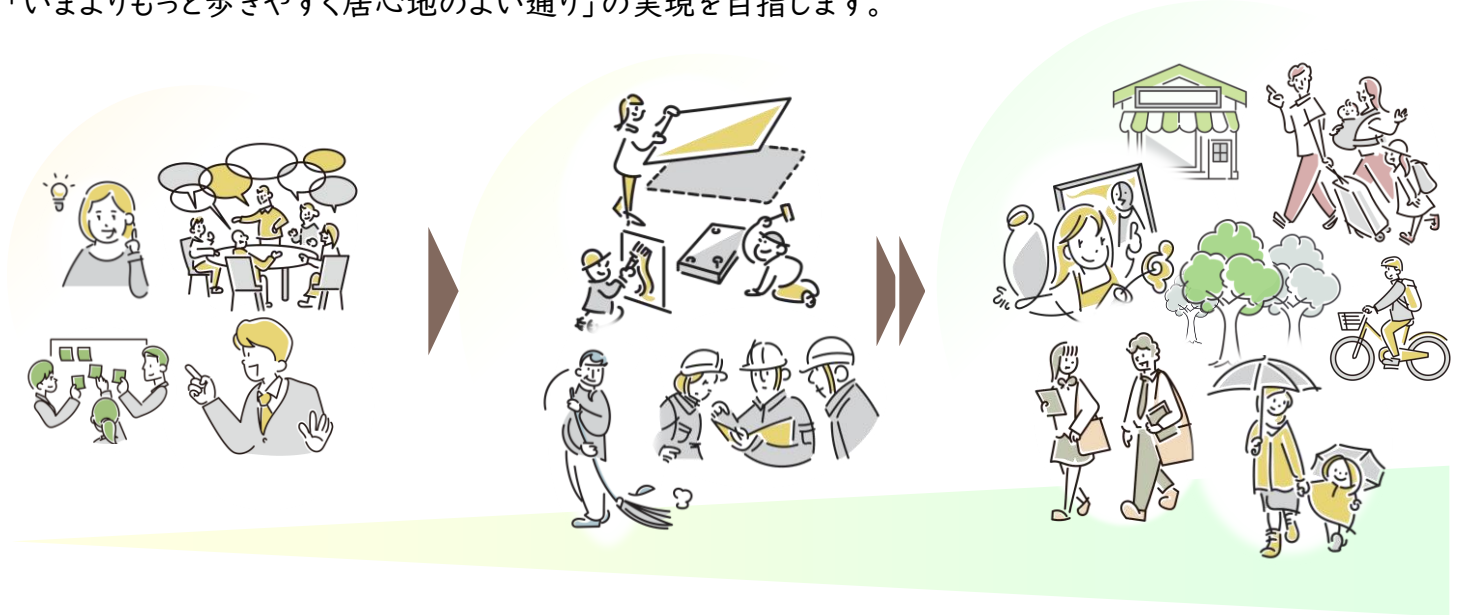
#### 実現イメージ① 自転車通行帯の整備

テーマ 1 2 3 4



※自転車通行帯が未整備の松本駅前～深志二丁目交差点の間を対象として想定

これらの実現したいシーンは、県と市が連携し、沿道事業者、地域住民らと協働で形にしていきます。  
 いまある課題を解決し、通りの魅力を高めるため、それぞれができること、やりたいことを調整しながら取り組み、「いまよりもっと歩きやすく居心地のよい通り」の実現を目指します。



協働で進める再整備計画の推進イメージ



実現イメージ② バス停の多機能化

テーマ 1 2 3 4



イメージ

バス時刻表やまちの最新情報の発信

上屋による日陰の創出  
 緑化やミストによる暑熱対策と涼感の演出

広告・情報発信スペースとしての活用

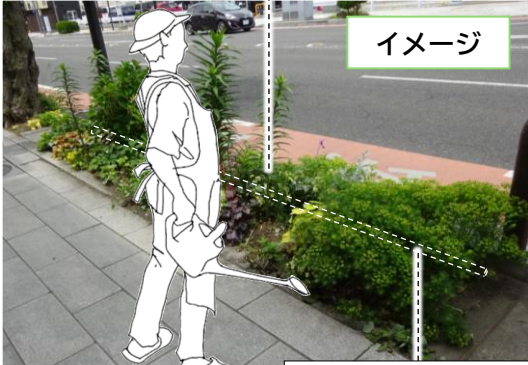
給水スポットの設置

誰でも座って休憩できるベンチ（両側に座面）

※あがたの森通りにあるバス停11箇所を対象として想定

# 実現イメージ③ 建物前緑化・地下水の多面的利用

沿道店舗・事業者による  
植栽帯のデザイン・管理



イメージ

建物前緑化の推進による  
店舗・建物の魅力向上



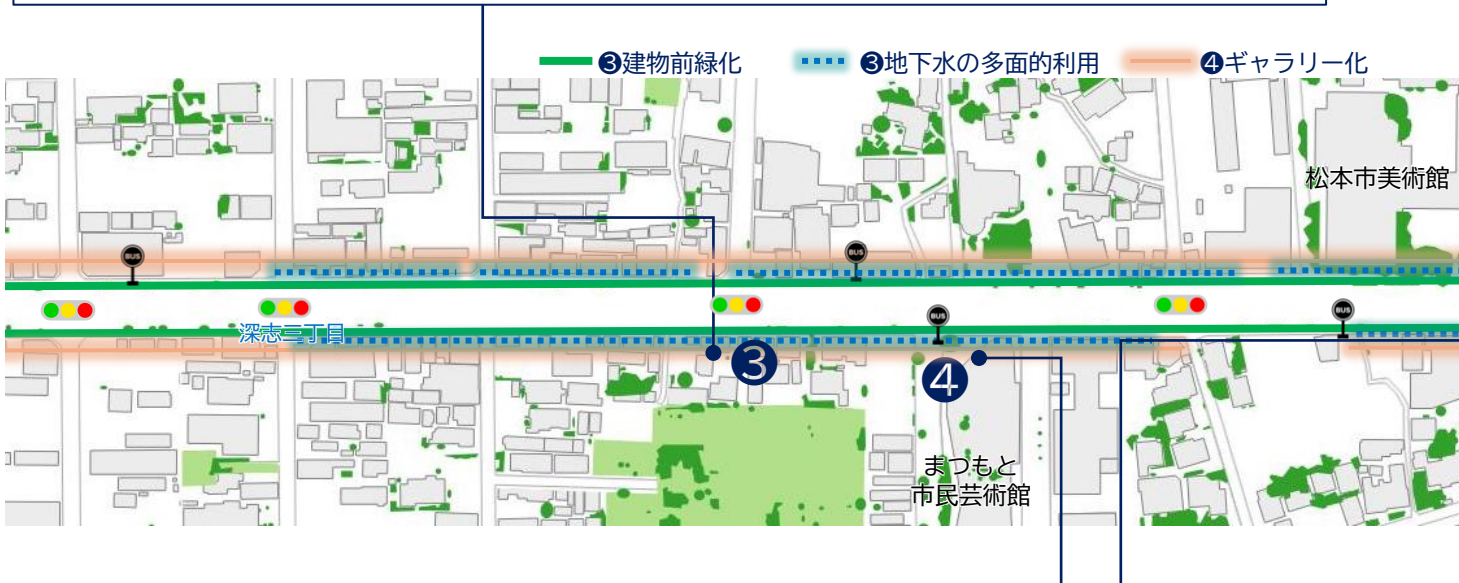
イメージ



地下水を活用した  
散水用水管の整備

井戸水の植栽帯の  
灌水などへの活用

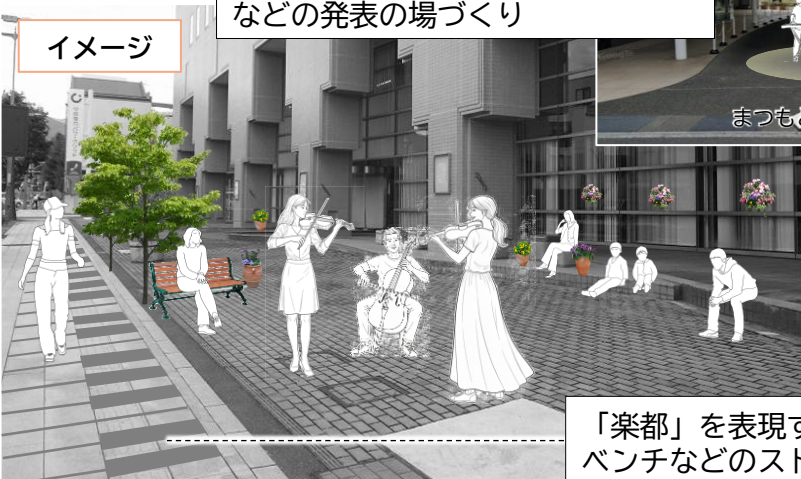
沿道の空き地から  
湧き出る井戸水



# 実現イメージ④ 芸術・文化を身近に感じるギャラリー化

イメージ

沿道空間を活用した音楽・アート  
などの発表の場づくり



イメージ

まつもと市民芸術館入口屋根下の空間活用

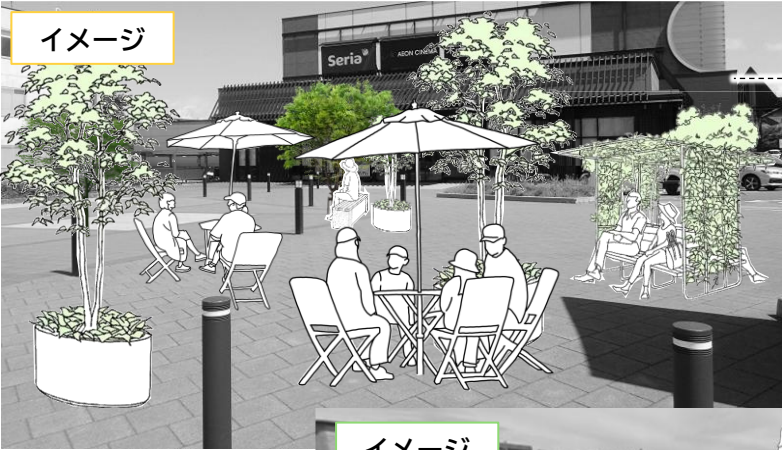


ピアノをモチーフにしたベンチの例

「楽都」を表現する音楽モチーフの舗装デザインや  
ベンチなどのストリートファニチャーの導入

# 実現イメージ⑤ 滞留空間とコミュニティガーデンの創出

テーマ 1 2 3 4



イメージ

通りに面するオープンスペースに、可動式のファニチャーを設置し、多目的に利用可能な滞留空間を創出

緑花団体・沿道事業者・地域住民・学校団体などとの協働で慈しみ育む花壇づくり・維持管理

園芸高校などで育てた花苗の植栽



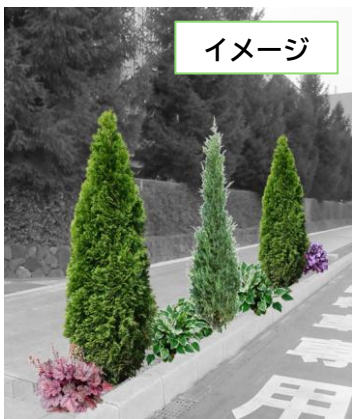
イメージ



# 実現イメージ⑥ 街路樹の魅力化・緑による景観創出

テーマ 1 2 3 4

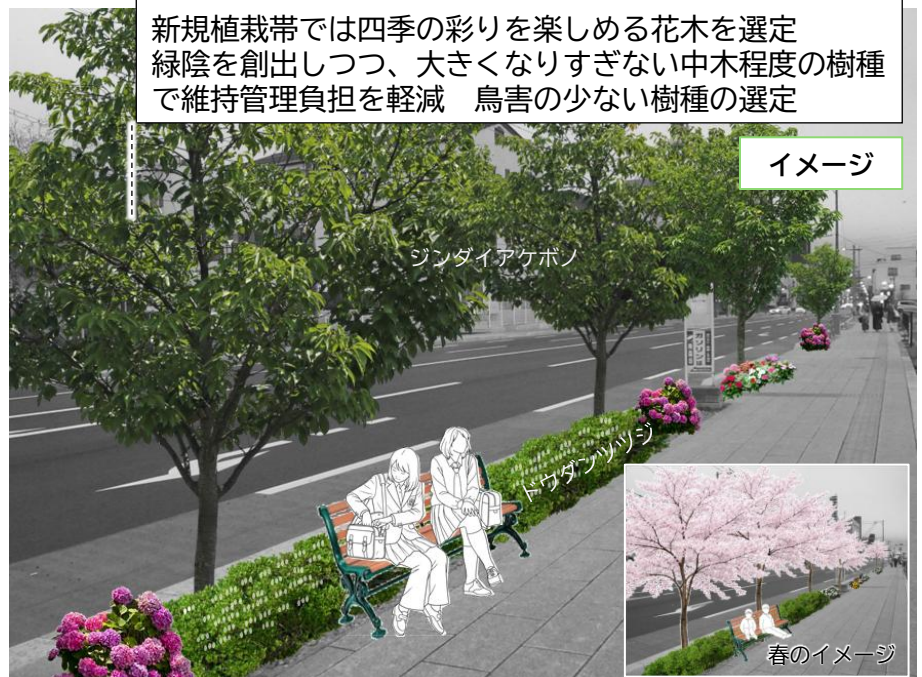
常緑樹の導入による冬季の景観向上と落葉管理の負担軽減  
ギボウシなどの宿根草を組み合わせることによるローメンテナンス化



イメージ

秀峰学校側の植栽帯

新規植栽帯では四季の彩りを楽しめる花木を選定  
緑陰を創出しつつ、大きくなりすぎない中木程度の樹種で維持管理負担を軽減 鳥害の少ない樹種の選定



イメージ

春のイメージ

## 4 あがたの森通りの再整備の取組

目指す姿の実現に向けて、県と市が連携して取り組む内容をテーマごとに示します。

### テーマ1 より安全で快適な道づくり

誰もが安全・快適に通行できるように、自転車・歩行者の通行環境を向上させるとともに、豪雨時の冠水や冬季の凍結、夏の暑さに対応できる道路空間の整備に取り組みます。

#### 方針1 自転車通行帯の連続性確保と通行の安全性向上

自転車が安全に通行できるように、あがたの森通り全線にわたって連続する自転車通行帯の整備を進めます。

##### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 自転車通行帯未整備区間の整備
- ② 自転車通行帯を含む路面の平坦性の確保（段差・凹凸の解消）

##### 【実現に向けた課題】

- a 現在の道路幅員や沿道状況を踏まえた整備手法
- b 自転車利用者への通行ルール及び通行者全体への通行マナーの周知
- c 沿道店舗利用者、荷捌き車等の路上駐車対策
- d バスベイにおける自転車と降車客の接触防止対策
- e 沿道での自転車駐輪スペースの設置

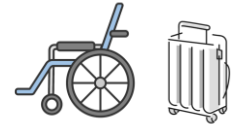


#### 方針2 歩行空間のユニバーサルデザイン化

あがたの森通りを誰もが安全・快適に通行できるように、歩行空間のユニバーサルデザイン化を進め、路面の改善や段差・傾斜の解消などに取り組みます。

##### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 縦断勾配・横断勾配の改善（車いす、キャリーケース利用者への配慮）
- ② 歩道の適正幅員の確保（車いす同士のすれ違いが可能な有効幅員）



##### 【実現に向けた課題】

- a ユニバーサルデザインの視点による現状調査の実施
- b 改善箇所の優先順位の整理（路面改修、段差・傾斜の解消、雨水排水処理、冬期路面对策、車両出入口、誘導用ブロックの配置等）

#### 方針3 グリーンインフラによる雨水管理と浸水対策の強化

近年の集中豪雨などによる浸水リスクに対応するため、グリーンインフラの手法を活用し、雨水の浸透・貯留機能の拡充を進めます。

##### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 透水性舗装の導入（歩道部、オープンスペース等）
- ② レインガーデン等、雨水の浸透・貯留機能を有する植栽帯の配置・整備（ポケットパーク整備と一体的に実施）

##### 【実現に向けた課題】

- a 透水性舗装は歩道の再整備と一体的に実施するため中長期対応となる
- b レインガーデンに必要な資材・設備・維持管理の仕組みの導入
- c 沿道の浸水リスクの高い箇所を優先した段階的整備



#### 方針4 夏場の暑熱対策と景観・快適性の向上

夏の暑さをしのぎながら快適に歩けるよう、緑陰の創出や休憩スポットなどを効果的に配置し、景観・快適性の向上を進めます。

##### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 日陰の整備（シェルターや木陰等とベンチの組み合わせ）
- ② 水を活用した暑熱対策

##### 【実現に向けた課題】

- a 通り沿いに点在するバス停留所・箇所との連携
- b 地下水の活用可否の確認
- c 地下水の循環利用による歩道冷却手法
- d 暑熱対策として打ち水にも活用できる給水スポット設置（湧水・井戸）
- e ミスト装置等の暑熱対策設備の導入 ※テーマ2方針1にも関連



## テーマ2 居心地のよい道端づくり

「ただ通り過ぎる道」から「立ち寄りたくなる道端」へ。滞留空間と賑わいのある通りの創出を推進します。

### 方針1 居心地のよい滞留空間づくり

沿道のオープンスペースやバス停留所、路上空間などを、誰もが立ち寄りたくなる居心地のよい滞留空間として活用する仕組みづくりに取り組みます。

#### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 沿道のオープンスペースを活用した市民参加によるポケットパーク整備
- ② 歩道とオープンスペースの一体的な空間形成(段差解消、フェンス撤去等)
- ③ グランドレベル(建物1階)の通りへの開放促進
- ④ バス停の多機能化:休憩機能、給水機能、日陰、緑化、統一デザイン(バスまち空間の魅力化)
- ⑤ オープンテラス・カフェ設置のための制度活用、既存店舗との調整
- ⑥ ベンチやプランターなどのストリートファニチャーの導入



#### 【実現に向けた課題】

- a オープンスペース所有者・公共施設・店舗事業者(必要に応じて沿道町会)など関係者との協議
- b 歩道を活用できる手続きの簡略化とルールの周知
- c 交通事業者との調整(安全性・視認性の確保、バス停多機能化に伴い乗車者と滞留者を区別するルールづくり)
- d ポケットパーク整備・緑化に関わる市民、事業者、団体等と連携した維持管理体制の構築、利用者へのマナー周知
- e ストリートファニチャーの県産材使用

### 方針2 賑わいと回遊性の向上

横道や周辺の魅力スポットとあがたの森通りとのつながりを深め、通り一帯での賑わいと回遊性の向上を進めます。

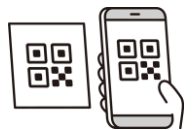
#### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 横丁・横道への誘導サイン(案内板、路面表示等)の設置
- ② 沿道各所のスポット間を結ぶ連続的な仕掛けづくり(舗装デザイン、サイン等)
- ③ 回遊マップの作成・配布(スタンプラリー等の回遊促進の仕掛けを含む)
- ④ 住民も参加する通り全体でのイベントや社会実験の開催(多軸の評価指標の設定)
- ⑤ QRコード等のデジタル技術を活用した多言語・多世代対応の仕掛けづくり



#### 【実現に向けた課題】

- a 観光関連団体や情報発信者等との情報共有・協働体制の構築
- b 誘導サインのデザイン統一(多言語対応の検討含む)とメンテナンスの仕組みの確立
- c 計画性のあるサイン、マップ等の設置(情報過多対策)
- d デジタル情報の更新や維持管理体制の構築
- e 通り全体でのイベントにおける沿道事業者や主催者間での良好な関係構築及び一体感の醸成



### 方針3 居心地を高める沿道デザインの誘導

あがたの森通りならではの質の高い沿道景観を創出し、歩きたくなる通りの実現を進めます。

#### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① ファサード(建物正面外観)のデザインのルールづくり(多様性と統一性の両立)
- ② 屋外広告物の色彩・デザインのルール化

#### 【実現に向けた課題】

- a 松本市景観計画によるデザインコードとの整合
- b 建物所有者や店舗事業者との目指したい沿道景観の共有とルールに対する理解
- c 統一性の担保と店舗ごとの個性の発揮との両立(共通ルールと自由度のバランス設定)



# テーマ3 水と緑を感じる道づくり

地域と協働した緑化推進により「緑と花のシンボリストリート」を実現し、水を活かした親水空間の創出を図ります。

## 方針1 沿道植栽の戦略的なデザイン ～緑の変化と連続性～

地域と進める「緑と花のシンボリストリートデザイン」の実現に向け、良好な歩行環境を創出する植栽計画を策定し、緑が連なる沿道景観の形成を進めます。

### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 通り全体を貫く統一テーマに基づく植栽計画の策定(エリアごとの特性を踏まえた樹種構成)
- ② 高木・中木・低木の階層的配置による立体的な緑の演出(生物多様性、在来種、耐候性等にも配慮)
- ③ 常緑樹と落葉樹や四季折々に花が咲く樹種の組み合わせによる通年の彩り確保
- ④ 通りの南北軸を考慮した戦略的な街路樹配置(緑陰の形成)



### 【実現に向けた課題】

- a 歩行快適性・車両視認性・景観の三者を両立させる街路樹の剪定管理手法(樹種選定、剪定管理等での工夫)
- b 植物の健全な生育と良好な沿道空間を保つための維持管理手法(剪定、灌水、植栽基盤等)
- c 沿道建物の配置と日射による南北の歩道環境の違いを踏まえた街路樹配置計画
- d 鳥害・病虫害対策(樹種選定、剪定管理等での工夫、有効な対策事例の参照)
- e 街路樹による緑陰創出にともなう落葉処理(緑と共存する意識の醸成等)



## 方針2 沿道店舗などとの協働による緑化推進と維持管理

「緑と花のシンボリストリートデザイン」の実現に向け、沿道店舗や市民との協働による緑化推進と、持続可能な維持管理体制の構築を進めます。

### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 沿道店舗などによる建物前緑化の推進
- ② 若い世代との協働による花育プログラムの展開(幼少期から)と住民との交流促進・地域共助
- ③ 公民協働による持続可能な維持管理の仕組みづくり

### 【実現に向けた課題】

- a 沿道店舗による植栽帯の管理・アレンジを可能とする制度設計(花いっぱい運動との連携)
- b 教育機関との連携に向けた調整や協働の仕組みづくり
- c 持続可能な維持管理組織・団体の育成・形成(緑化団体、地域ボランティア等)



## 方針3 水の活用と親水空間の創出

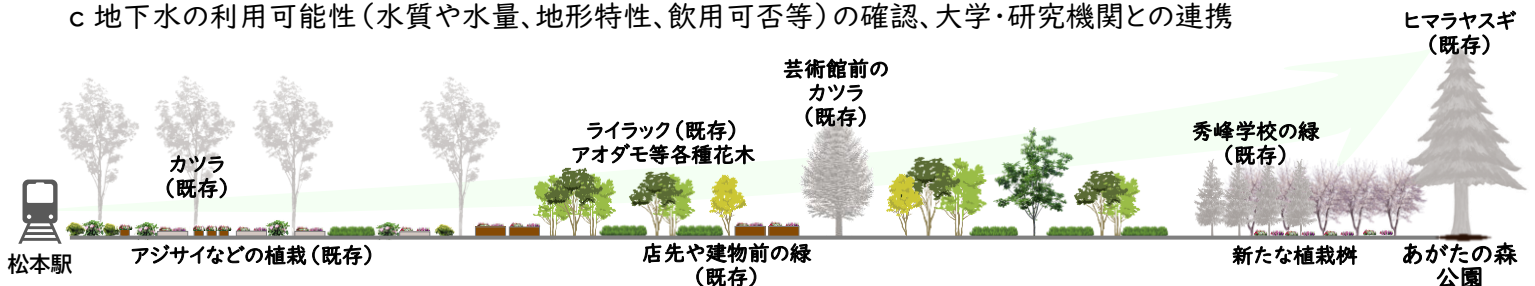
あがたの森通り沿道で、水を活用した景観づくりや維持管理、親水空間による回遊性向上に取り組めます。

### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 水を活かした景観デザインの展開(水盤、せせらぎ、モニュメント等)
- ② 水にまつわる歴史解説等の案内サインの充実
- ③ 給水スポット(飲用・植栽への灌水、歩道の洗浄等の散水用)の設置

### 【実現に向けた課題】

- a 松本市の水巡り案内等の取組との連携
- b 美術館の水景やせせらぎを親水空間として活用するための調整
- c 地下水の利用可能性(水質や水量、地形特性、飲用可否等)の確認、大学・研究機関との連携



## テーマ4 芸術・文化が薫る道づくり

あがたの森通りで松本らしさを感じ、芸術・文化を身近に楽しめるシンボルストリートの創出を目指します。

### 方針1 三ガク都を表現する統一的な空間デザイン

沿道事業者・地域住民らとともに、松本らしさを感じ取れる「あがたの森通りならではのデザインコンセプト」を共有し、統一感のある空間形成を進めます。県と市は、地域が目指すデザインの実現を支援します。

#### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 統一感のあるストリートファニチャー(照明、ベンチ等)の統一デザイン整備
- ② エリア特性を反映した舗装デザイン(楽都を表現する音楽モチーフ等)
- ③ 文化施設への誘導を組み込んだ歩道舗装の整備(美術館・芸術館への動線の可視化)
- ④ 松本の伝統工芸品、学都を表現する文学作品や人物、民芸運動を紹介する解説サインの整備
- ⑤ 岳都を表現する山並みの眺望ポイント案内



#### 【実現に向けた課題】

- a 地域住民、松本市、観光関係者等との合意形成
- b 通りの統一感と松本らしさの表現方法の検討(音楽、城下町、民芸など)
- c ストリートファニチャー等の新規整備と既存施設活用の整理
- d 市民から観光客、子どもから高齢者までが楽しめるシンプルで分かりやすい解説内容の検討



### 方針2 アートを身近に感じるギャラリーストリート化

沿道事業者・地域住民・芸術文化団体らが主体となり、あがたの森通りを芸術文化の発信の場として活用します。県と市は、アートを身近に感じるギャラリーのような通りの実現に向け、空間整備や活動支援を行います。

#### 【実現を目指す取組の方向性】

- ① 小規模なアート・音楽・工芸などの発表の場の配置(壁面アート、オープンギャラリー、ストリートパフォーマンス等)
- ② イベント時の演出・装飾の計画的展開(クラフトフェア、セイジ・オザワ松本フェスティバル等との連動)
- ③ 沿道店舗との連携によるウィンドウギャラリー化・回遊推進
- ④ 楽都を表現する音楽モチーフのサイン・モニュメント設置(譜面デザイン、世界的音楽家の手形等)



#### 【実現に向けた課題】

- a アーティスト(音楽家、工芸作家等含む)との協働運営の仕組みづくり
- b 既存のイベント実行委員会との調整・協力体制
- c 芸術文化の質を保つための選定基準の策定
- d 沿道店舗の取組協力・連携の仕組みづくり
- e サイン・モニュメントの計画的な配置(過剰配置防止)及びストリートファニチャーとの統一感・一体感の創出

## 5 計画の検討経過

これまで、県と市が連携し、あがたの森通りに日々関わりのある沿道事業者、地域住民、本計画に関心のある方々とともにワークショップ（計5回）を開催し、参加者との意見交換を重ねながら計画内容を検討してきました。



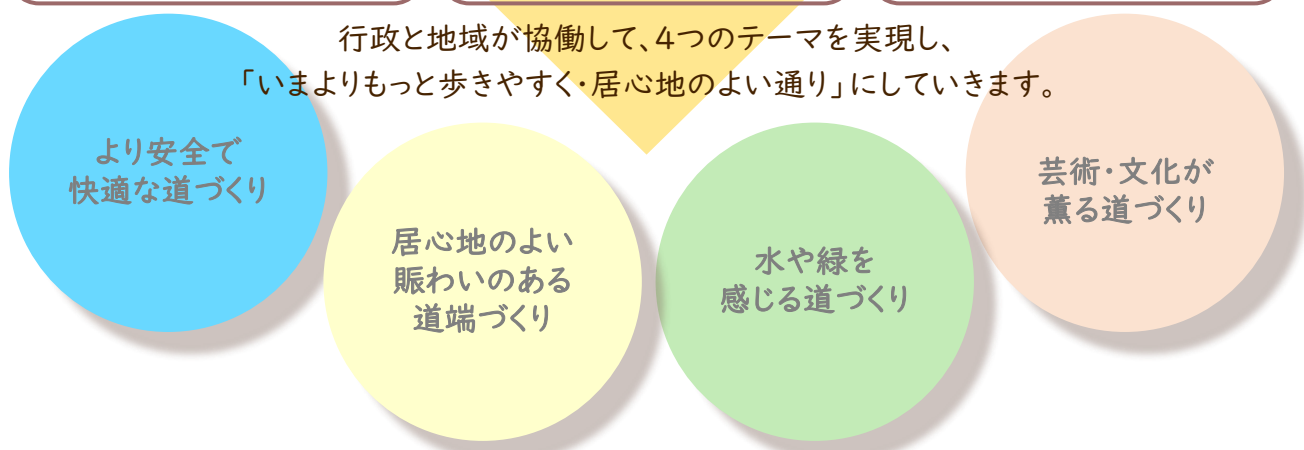
「あがたの森ストリートデザインワークショップ」による計画検討の経過

## 6 計画の進め方

本計画に基づく再整備は、行政（県・市）が道路整備やルールづくり等の基盤を整え、地域（沿道事業者・地域住民等）が空間の活用やイベント実施等を担う形で進めていきます。双方が対話・調整を重ねながら、構想→整備→運用の段階を経て、実施可能なものから着手していきます。



行政と地域が協働して、4つのテーマを実現し、「いまよりもっと歩きやすく・居心地のよい通り」にしていきます。



## あがたの森通り再整備計画(案)

発行:令和8年3月

長野県松本建設事務所  
長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎4階  
計画調査課 TEL:0263-40-1964(直通)



本計画(案)及び「あがたの森ストリートデザインワークショップ」の経過は、松本建設事務所のホームページにも掲載しています。  
[https://www.pref.nagano.lg.jp/matsuken/keicho/agatanomoridori\\_ws.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/matsuken/keicho/agatanomoridori_ws.html)



